



平成 27 年 11 月

各大学院研究科長様

一般財団法人 日本生涯学習総合研究所

「高等教育機関が求める人材像」に関する実態調査ご協力をお願い

謹啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より弊財団の諸活動に対しまして、格別のご支援とご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

私ども一般財団法人 日本生涯学習総合研究所は、文部科学省所管の財団法人として、平成 5 年の設立以来 20 年以上にわたり生涯学習に関する調査を行い、その成果を広く社会に提供してまいりました。

このたび、弊財団としては初めて「高等教育機関が求める人材像」に関する実態調査を実施することとなりました。

ご多用のところ、まことに恐縮とは存じますが、なにとぞ調査の趣旨をご理解いただきご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

謹白

調査実施概要

【調査の目的】

現在、多くの高等教育機関においてアドミッション・ポリシーが策定されていますが、それが入学者選抜にあたっての指針となっているかは、各教育機関によって異なると推察されます。本調査では、多様化した入学者選抜において、アドミッション・ポリシーがどのように生かされているのかを調査し、具体的な問題点や改善点を浮かび上がらせたいと考えております。併せて、急速に進展するグローバル化に対応した人材育成という観点からの調査項目も加えました。

【調査対象】 全国の大学院研究科と大学の学部及び短期大学の学科

【調査期間】 平成 27 年 11 月

【調査結果のフィードバック及び公表】

調査結果の報告書は、弊財団ホームページ上にて公開する予定です。

また、送付先データをご記入いただいた学校には、弊財団独自の方法で大学を分類し、類似校との比較分析したレポートをお送りいたします。なお、報告書やレポートの分析・集計結果において、具体的な校名は記載いたしません。

一般財団法人 日本生涯学習総合研究所

調査担当：石原

TEL 03-3539-3786

<http://www.shogai-soken.or.jp/>



00000000Qea





博士・博士後期

- 1. 文学
- 2. 語学
- 3. 法学・政治学
- 4. 経済・経営・商学
- 5. 社会学
- 6. 国際関係学
- 7. 看護・医療学
- 8. 医・歯学
- 9. 薬学
- 10. 理学
- 11. 工学
- 12. 農・水産学
- 13. 教員養成・教育学
- 14. 心理学
- 15. 生活科学
- 16. 芸術
- 17. 体育・健康科学
- 18. その他 具体的に

専門職大学院

- 1. ビジネス・MOT
- 2. 会計
- 3. 公共政策
- 4. 公衆衛生
- 5. 知的財産
- 6. 臨床心理
- 7. 法科大学院
- 8. 教職大学院
- 9. その他 具体的に

B-2 貴研究科の大学院生数について以下の内から該当するものをチェックしてください。

修士・博士前期(一貫制博士課程含む)

- 1. 1000人以上
- 2. 500人以上 1000人未満
- 3. 250人以上 500人未満
- 4. 100人以上 250人未満
- 5. 100人未満

博士・博士後期

- 1. 1000人以上
- 2. 500人以上 1000人未満
- 3. 250人以上 500人未満
- 4. 100人以上 250人未満
- 5. 100人未満

専門職大学院

- 1. 1000人以上
- 2. 500人以上 1000人未満
- 3. 250人以上 500人未満
- 4. 100人以上 250人未満
- 5. 100人未満

B-3 貴研究科に所属する専攻の数について以下の内から該当するものをチェックしてください。

修士・博士前期(一貫制博士課程含む)

- 1. 1専攻
- 2. 2専攻
- 3. 3専攻
- 4. 4専攻
- 5. 5専攻以上

博士・博士後期

- 1. 1専攻
- 2. 2専攻
- 3. 3専攻
- 4. 4専攻
- 5. 5専攻以上

専門職大学院

- 1. 1専攻
- 2. 2専攻
- 3. 3専攻以上

〔2〕 比較分析レポートの送付先

下記項目に御記入の方には、弊財団独自の方法で研究科を分類し、貴研究科と類似した研究科とを比較分析したレポートをお送りいたします。ご希望の場合は、以下にご記入ください。○はどちらか該当するものをチェックしてください。なお、分析・集計結果において、具体的な学校名は記載いたしません。

大学名	<input style="width: 95%; height: 20px;" type="text"/>	<input type="checkbox"/> 大学大学院
研究科名	<input style="width: 95%; height: 20px;" type="text"/>	<input type="checkbox"/> 研究科
送付方法	<input type="checkbox"/> e-mail 添付希望	<input style="width: 95%; height: 20px;" type="text"/>
	<input type="checkbox"/> 郵送希望	<input style="width: 95%; height: 20px;" type="text"/>

↑ 比較分析したレポートを確実にお手元にお届けするために、上記の事項は正確にご記入くださるようお願いいたします。





[3]「高等教育機関が求める人材像」に関する実態調査〈大学院対象〉

質問1 貴大学院の入学者について伺います。

1-1 貴大学院の修士・博士前期課程、専門職学位課程への入学者について、該当するものを全てチェックしてください。

1. 大学内からの入学者が半数以上、他大学からの入学者は半数未満
2. 他大学からの入学者が半数以上、大学内からの入学者は半数未満
3. 大学内からの入学者と、他大学からの入学者はほぼ同数
4. 異なる専攻分野からの入学者もいる
↳ 異なる分野からの入学者のおおよその割合がわかればご記入ください。[全体の約 %]
5. 海外からの入学者もいる

1-2 貴大学院の博士・博士後期課程への入学者について、該当するものを全てチェックしてください。

1. 同一大学院からの入学者が半数以上、他大学院からの入学者は半数未満
2. 他大学院からの入学者が半数以上、同一大学院からの入学者は半数未満
3. 同一大学院からの入学者と、他大学院からの入学者はほぼ同数
4. 異なる専攻分野からの入学者もいる
↳ 異なる分野からの入学者のおおよその割合がわかればご記入ください。[全体の約 %]
5. 海外からの入学者もいる

質問2 貴研究科への入学者選抜試験の方法別入学者比率について、選抜方法ごとに該当するものを1つチェックしてください。

●修士・博士前期(一貫制博士課程含む)

		入学者比率(%)				
		5%未満	5%~ 25%未満	25%~ 50%未満	50%~ 75%未満	75%以上
選 抜 方 法	1.一般入試	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>	4. <input type="checkbox"/>	5. <input type="checkbox"/>
	2.推薦入試	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>	4. <input type="checkbox"/>	5. <input type="checkbox"/>
	3.AO入試	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>	4. <input type="checkbox"/>	5. <input type="checkbox"/>
	4.外国人留学生特別選抜	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>	4. <input type="checkbox"/>	5. <input type="checkbox"/>
	5.社会人特別選抜	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>	4. <input type="checkbox"/>	5. <input type="checkbox"/>
	6.その他 具体的に []	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>	4. <input type="checkbox"/>	5. <input type="checkbox"/>

●博士・博士後期

		入学者比率(%)				
		5%未満	5%~ 25%未満	25%~ 50%未満	50%~ 75%未満	75%以上
選 抜 方 法	1.一般入試	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>	4. <input type="checkbox"/>	5. <input type="checkbox"/>
	2.推薦入試	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>	4. <input type="checkbox"/>	5. <input type="checkbox"/>
	3.AO入試	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>	4. <input type="checkbox"/>	5. <input type="checkbox"/>
	4.外国人留学生特別選抜	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>	4. <input type="checkbox"/>	5. <input type="checkbox"/>
	5.社会人特別選抜	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>	4. <input type="checkbox"/>	5. <input type="checkbox"/>
	6.その他 具体的に []	1. <input type="checkbox"/>	2. <input type="checkbox"/>	3. <input type="checkbox"/>	4. <input type="checkbox"/>	5. <input type="checkbox"/>





●専門職学位

		入学者比率(%)				
		5%未満	5%～ 25%未満	25%～ 50%未満	50%～ 75%未満	75%以上
選 抜 方 法	1.一般入試	1. 0	2. 0	3. 0	4. 0	5. 0
	2.推薦入試	1. 0	2. 0	3. 0	4. 0	5. 0
	3.AO入試	1. 0	2. 0	3. 0	4. 0	5. 0
	4.外国人留学生特別選抜	1. 0	2. 0	3. 0	4. 0	5. 0
	5.社会人特別選抜	1. 0	2. 0	3. 0	4. 0	5. 0
	6.その他 具体的に □	1. 0	2. 0	3. 0	4. 0	5. 0

質問3 貴研究科の平成27(2015)年度の入学者の選抜試験の内容について伺います。

3-1 入学者選抜試験の評価方法について、選抜方法ごとに該当するものを全てチェックしてください。

●修士・博士前期(一貫制博士課程含む)

		選抜方法					
		一般入試	推薦入試	AO入試	留学生 特別選抜	社会人 特別選抜	その他
評 価 方 法	1.書類選考・資格審査	1. 0	1. 0	1. 0	1. 0	1. 0	1. 0
	2.面接・口頭試問	2. 0	2. 0	2. 0	2. 0	2. 0	2. 0
	3.筆記試験	3. 0	3. 0	3. 0	3. 0	3. 0	3. 0
	4.公的・民間の資格試験活用	4. 0	4. 0	4. 0	4. 0	4. 0	4. 0
	5.その他 具体的に □	5. 0	5. 0	5. 0	5. 0	5. 0	5. 0

●博士・博士後期

		選抜方法					
		一般入試	推薦入試	AO入試	留学生 特別選抜	社会人 特別選抜	その他
評 価 方 法	1.書類選考・資格審査	1. 0	1. 0	1. 0	1. 0	1. 0	1. 0
	2.面接・口頭試問	2. 0	2. 0	2. 0	2. 0	2. 0	2. 0
	3.筆記試験	3. 0	3. 0	3. 0	3. 0	3. 0	3. 0
	4.公的・民間の資格試験活用	4. 0	4. 0	4. 0	4. 0	4. 0	4. 0
	5.その他 具体的に □	5. 0	5. 0	5. 0	5. 0	5. 0	5. 0

集計作業時
チェック欄 0





●専門職学位

		選抜方法					
		一般入試	推薦入試	AO 入試	留学生 特別選抜	社会人 特別選抜	その他
評価 方法	1.書類選考・資格審査	1. 〇	1. 〇	1. 〇	1. 〇	1. 〇	1. 〇
	2.面接・口頭試問	2. 〇	2. 〇	2. 〇	2. 〇	2. 〇	2. 〇
	3.筆記試験	3. 〇	3. 〇	3. 〇	3. 〇	3. 〇	3. 〇
	4.公的・民間の資格試験活用	4. 〇	4. 〇	4. 〇	4. 〇	4. 〇	4. 〇
	5.その他 具体的に []	5. 〇	5. 〇	5. 〇	5. 〇	5. 〇	5. 〇

3-2 3-1 で「4.公的・民間の資格試験活用」にチェックされた方のみ伺います。

入学者選抜試験の評価に活用している資格試験名(公的・民間を問わず)をご記入ください。

- 修士・博士前期(一貫制博士課程含む) 活用している資格試験名 []
- 博士・博士後期 活用している資格試験名 []
- 専門職学位 活用している資格試験名 []

質問 4 貴研究科の入学者選抜試験とアドミッション・ポリシーのかかわりについて伺います。

4-1 貴研究科ではアドミッション・ポリシーを定めていますか。該当するものを1つチェックしてください。

- 1. 〇 すでに定めている
- 2. 〇 特に定めていないが、近年中に定める予定で検討中である
↳ 導入予定年度がわかりましたらご記入ください。 [平成 [] [] 年度]
- 3. 〇 定めておらず、定める予定もない

4-2 4-1 で、「1.すでに定めている」と回答された方のみ伺います。

貴研究科の入学者選抜試験において、受験者がアドミッション・ポリシーに沿っているかどうかの判定は、主としてどの段階で行いますか。該当するものを1つチェックしてください。

- 1. 〇 書類選考・資格審査
- 2. 〇 面接・口頭試問
- 3. 〇 筆記試験(専門科目・小論文等)
- 4. 〇 特にどの段階とは定めていない
- 5. 〇 アドミッション・ポリシーに沿っているかどうかは判定していない

4-3 貴研究科では、大学院教育を通じて発展・向上させる能力について定めていますか。該当するものを1つチェックしてください。

- 1. 〇 どのような力を発展・向上させるか、明確かつ具体的に定めている
- 2. 〇 どのような力を発展・向上させるかを定めているが、明確かつ具体的とはいえない
- 3. 〇 どのような力を発展・向上させるかを定めていないが、近年中に定める予定で検討中である
- 4. 〇 どのような力を発展・向上させるかを定めておらず、定めるめどもついてない

質問 5 大学院生が学部の授業を指導補助するTA(ティーチング・アシスタント)制度について伺います。

5-1 貴研究科にはTA制度がありますか。該当するものを1つチェックしてください。

- 1. 〇 TA制度がある
- 2. 〇 TA制度はないが予定している
- 3. 〇 TA制度はなく、導入する予定もない





5-2 5-1 で、「1.TA 制度がある」と回答された方のみ伺います。

5-2-1 TA が携わっている業務の内容について、該当するものを全てチェックしてください。

1. 授業進行の補助(資料配布、授業環境維持、試験監督等)
2. 授業準備の補助(出席管理、資料印刷等)
3. 担当教授の学生指導補助(ゼミ・卒論指導補助、成績評価補助等)
4. TA による学生指導(学生への助言、サブゼミの実施等)
5. 大学学事補助(学生支援室等勤務、教材開発補助等)
6. その他 具体的に



5-2-2 TA 育成のためのプログラムはありますか。該当するものを1つチェックしてください。

1. TA 育成のためのプログラムがある
2. 現在は、TA 育成のためのプログラムはないが、つくる予定はある
3. TA 育成のためのプログラムはなく、予定もしていない

5-2-3 5-2-2 で、「1.TA 育成のためのプログラムがある」と回答された方のみ伺います。

TA 育成のため実施しているプログラムについて、該当するものを全てチェックしてください。

1. ハンドブックの配布
2. ガイダンスの実施
3. 担当教授による TA のグループディスカッションの定期的実施
4. 担当教授による個別指導
5. その他 具体的に



質問 6 貴研究科の大学院における教育内容について伺います。

6-1 「教育システム」について、該当するものを全てチェックしてください。

1. 教員と大学院生との間で質疑や議論がなされる授業を積極的に実践
2. 大学院生同士の議論が頻繁に積極的になされるような授業の工夫
3. 勉強に精を出さねば修了できない、厳しいカリキュラムを実践
4. 大学院生の思考力、人間性、意欲、視野の広さなどを伸ばすカリキュラムを実践
5. グローバルな視点から学ぶ意識を持たせるカリキュラムを実践

6-2 「教育内容」について、該当するものを全てチェックしてください。

1. 教養教育の拡充による幅広い視野や基礎的思考力の養成を実践
2. 論理的思考力を高めるためのトレーニングを実践
3. 外国語専攻以外の大学院生対象に外国語によるコミュニケーション能力養成の支援を実践
4. 正規のカリキュラム以外に、実務で不可欠な技能の養成講座を提供

6-3 大学院生が「実社会を知る」ために、大学院として取り組んでいるものについて、該当するものを全てチェックしてください。

1. 大学院生の国内でのインターンシップを促進
2. 大学院生のボランティア活動や地域活動への参画を促進
3. 企業・官公庁等の幹部・実務者を講師として招聘し実務を知るチャンスを増大
4. 企業・官公庁等の現場の見学などによる実務者との交流の機会を増大

6-4 「外国語教育」への取り組みについて、該当するものを全てチェックしてください。

1. 外国語で論文を読めるようにする
2. 外国語で論文を書けるようにする
3. 外国語プレゼンテーションを行えるようにする
4. 外国語でディスカッションができるようにする





6-5 「留学生対応」について、該当するものを全てチェックしてください。

1. 優秀な留学生の受け入れ拡大に向けた取り組みを实践
2. 受け入れ留学生に対する日本人大学院生のメンター制度を導入
3. 受け入れ留学生に対する大学独自の経済的補助制度を導入
4. 外国語で履修できる科目を提供
5. 日本語習得のためのカリキュラム、講座などを提供

6-6 大学院生の「海外経験」のための制度について、該当するものを全てチェックしてください。

1. 海外大学院との交換留学・派遣留学の制度を導入
2. 海外の企業・官公庁等でのインターンシップを経験させる制度を導入
3. 海外大学院との単位相互認定制度を導入

6-7 大学院生の「海外経験」を支援する制度について、該当するものを全てチェックしてください。

1. 海外大学院との交換留学・派遣留学の経済的支援制度を導入
2. 海外の企業・官公庁等でのインターンシップを経験させるための経済的支援制度を導入
3. 海外の学会などで研究発表をするための経済的支援制度を導入
4. 海外でのフィールドワークへの参加や実施のための経済的支援制度を導入
5. 海外での学会活動・研究活動に必要な語学力習得のための支援制度を導入

6-8 大学院生の「海外経験」で必須としているものについて、該当するものを全てチェックしてください。

1. 海外大学院への交換留学・派遣留学の経験
2. 海外の企業・官公庁等でのインターンシップの経験
3. 海外の学会などで研究発表
4. 海外でのフィールドワークへの参加や実施

質問7 貴研究科の大学院生について伺います。

(専門職大学院は修士・博士前期課程に、一貫制博士課程は博士・博士後期課程に含む)

7-1 貴研究科において、この10年での大学院生の「学力変化」について該当するものを1つチェックしてください。

1. 修士・博士前期課程、博士・博士後期課程ともに学力が低下していない
2. 修士・博士前期課程で、学力が低下している
3. 博士・博士後期課程で、学力が低下している
4. 修士・博士前期課程、博士・博士後期課程ともに学力が低下している

7-2 貴研究科において、現在の大学院生の「研究能力」について該当するものを1つチェックしてください。

1. 修士・博士前期課程、博士・博士後期課程ともに研究能力が低下していない
2. 修士・博士前期課程で、研究能力が低下している
3. 博士・博士後期課程で、研究能力が低下している
4. 修士・博士前期課程、博士・博士後期課程ともに研究能力が低下している

7-3 貴研究科において、現在の大学院生に特に欠けていると思われる能力について、該当するものを全てチェックしてください。

- | | |
|--|---|
| 1. <input type="checkbox"/> 日本人としての基本的なコミュニケーション能力 | 2. <input type="checkbox"/> 海外の研究者とのコミュニケーション能力 |
| 3. <input type="checkbox"/> 研究で必要となる学問的蓄積 | 4. <input type="checkbox"/> 課題や問題を発見する力 |
| 5. <input type="checkbox"/> 課題や問題を解決するための思考能力 | 6. <input type="checkbox"/> 自発的に研究を進めようとする意欲 |
| 7. <input type="checkbox"/> 個々の院生により異なり、一概には指摘できない | |

質問は以上です。ありがとうございました。

